



## ～コロナ禍における差別・偏見を考える授業～

年の暮れが近づいてきたことを実感する時期になりましたが、第3波が収まる気配が感じられず、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応が必要な日々が続いております。各ご家庭のご協力を得て、2学期も何とかここまでできましたが、まだまだ予断を許さない状況にありますので、引き続き感染予防対策をお願いいたします。

また、新型コロナウイルス感染症の影響が全校的に拡大し、感染者の発生が連続しています。こうした中で、感染者やその家族、感染した人や感染症に関わる人に対する接し方について、改めて考えなければなりません。12月11日(金)には、急遽、6校時の時間割を変更し、全学年一斉に各学級で人権教育の授業を行いました。

### 【全校で考えた問題】

ある地域で、塾や社会体育などで、新型コロナウイルス感染症に関わって、他の学校の友だちから仲間外しにあったり、避けられたりして、とても悲しい思いをしている人がいる事実があります。もし、自分のまわりの人が新型コロナウイルスに感染し、治って学校等に出てきたら、あなたはその人にどのように接しますか？

#### 【1 学年生徒の振り返りから】

みんなが出してくれた言葉を聞いて、もし自分が感染してしまったとき、少しは気を楽しんで学校にまた来られるとよいと思った。

いつ身近な人がかかってしまっても、自分がかかってしまってもおかしくない話なので、友達の意見などを頭に入れて生活したい。

#### 【2 学年生徒の振り返りから】

やっぱり、今までと同じように接するべき。やり過ぎたら、逆に相手を気にし過ぎていることになるし、避けたいじめだし、今までと変わらないのが一番。

でも、心のどこかで、ちょっとためらったりとかもくはない。けれど、その思いを行動や言葉で相手に示さず、「誰だってなってしまうもの、なった人が悪いわけじゃない」ということを心にとどめておきたい。

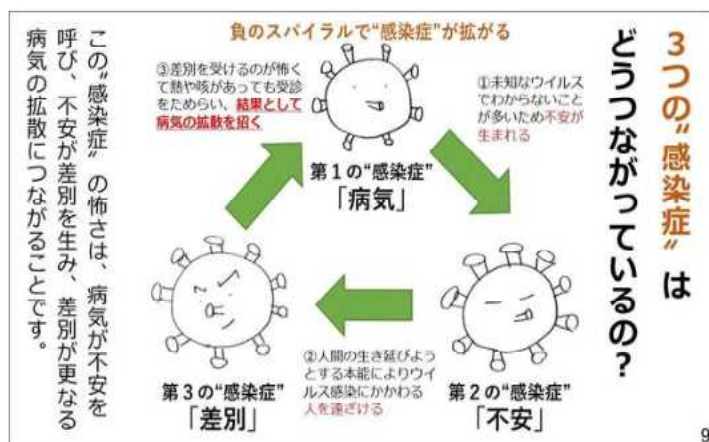
#### 【3 学年生徒の振り返りから】

「抵抗がない」といったらウソ…という考えに共感しました。でも、自分事として考えると…というふうに考えたら、急に態度が変わるわけでも、引くわけでもなく、変わらないでいてほしいと思った。だから、常に自分の事として考えていきたいと思った。

コロナに感染することは罪でもないし、その人のせいではないのだから、治って出てきたら、今までと変わらないでいたい。逆に、普通にしていってほしいと思った。

生徒一人ひとりが真剣に考え、自分事として、コロナ禍における差別・偏見について考えてくれました。周りいる大人の私たちも、この生徒たちの思いに恥じない言動をしていかねばならないと強く感じました。

日本赤十字社：「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」より抜粋 裏面に続く



### 『自分のため、みんなのため、マスク着用・手指消毒を心がけましょう』

登下校時のマスク着用に関しては、地域からの要請も出ており、「みんなで力を合わせてコロナ禍を乗り切って生きていくため、心の醸成を図るため」にも、継続して学校で指導をしています。しかし、依然として、近距離かつマスクなしで話しながら登下校する生徒の姿が見受けられます。ご家庭でも、今一度、ご指導をお願いします。


次の点について、お子さんと一緒にご家庭でもご確認をしていただけますとありがたいです

皆さんも、ウイルスに関する悪い情報ばかりに目が向いていたり、なにかとウイルスに結び付けて考えたりしていませんか？

「あの人が咳してる・・・コロナなんじゃない」「あの地域は「コロナ」が流行っているからあそこのものを買うのはやめよう・・・」「「熱があるけど怖いから黙ってよう・・・」

このように思い、行動することから「感染症」は広がっていきます。

**これらの「感染症」をふせぐために、私たちはどのような工夫ができるでしょうか？**

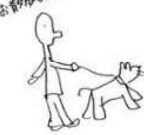


10

**第2の「感染症」にふりまわされないために**  
自分の安全や健康のために必要なことを見極めて自ら選択してみましょう

- ・ウイルスに関する情報にさらされるのを制限し、距離を置く時間を作る。
- ・いつもの生活習慣やペースを保つ。
- ・心地よい環境を整える。
- ・今自分ができていることを認める。
- ・今の状況だからこそできることに取り組んでみる。
- ・安心できる相手とつながる。

お散歩しよう



15

**第1の「感染症」をふせぐために**


1人1人が衛生行動を徹底しましょう。

「手洗い」  
「咳エチケット」  
「人混みを避ける」

など、

ウイルスに立ち向かうための行動を、自分のためだけでなく周りの人のためにもすることが大切です。

手洗いしつかり



11

**第3の「感染症」をふせぐために**

不安を煽ることは病気にに対する偏見や差別を強めます。

- ・「確かな情報」を扱みましょう。
- ・差別的な言動に同調しないようにしましょう。




16

【ダイジェスト版】

**第2の「感染症」にふりまわされないために**

不安や恐れは私たちの**気づく力**、**聴く力**、**自分を支える力**を弱めます。

不安や恐れは身を守るために必要な感情ですが、私たちから力を奪い、冷静な対応ができなくなることもあります。



12

**第3の「感染症」をふせぐために**

みなさんそれぞれの場所で感染を拡大しないように頑張っています。

- ・小さな子どもがいる家庭
- ・高齢者
- ・治療を受けている人とその家族
- ・自宅待機している人
- ・医療従事者
- ・日常生活を送って社会を支えている人

この事態に対応しているすべての方々に**ねぎらい、敬意**を払いましょう。

17

**第2の「感染症」にふりまわされないために**  
**気づく力を高める**

まずは自分を見つめてみましょう

- ・立ち止まって一息入れる。(深呼吸、お茶を飲む)
- ・今の状況を整理してみる。
- ・自分自身をいろいろな角度から観察してみる。(考え方、気持ち、ふるまいなど)

自分の心にサ-ライとあててみる



13

**まとめ**

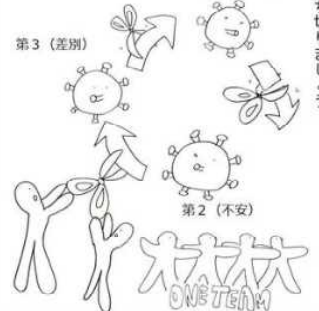
3つの「感染症」をみんなで見守り乗り越えていくために

このように、新型コロナウイルスは、3つの「感染症」という顔を持って、私たちの生活に影響を及ぼします。

このウイルスとの戦いは、長期戦になるかもしれません。

それぞれの立場でできることを行い、みんなが一つになって負のスパイラルを断ち切りましょう！

第1 (病気) 第2 (不安) 第3 (差別)



18

**第2の「感染症」にふりまわされないために**  
**聴く力を高める**

いつもの自分と違う所はありませんか？

- ・ウイルスに関する悪い情報ばかりに目が向いていませんか？
- ・なにかと感染症に結び付けて考えていませんか？
- ・趣味の時間や親しい人との交流が減っていませんか？
- ・生活習慣が乱れていませんか？

普段と変わらず続けられることはありますか？



14

～新型コロナウイルス差別・偏見をなくそうプロジェクト～ 映像教材



「ココロのワクチンプロジェクト」

特設ウェブサイト

開設日 令和2年12月4日(金)

URL <https://akariwotomoso.com/>

テレビCM(民放4局) 令和2年12/4～31